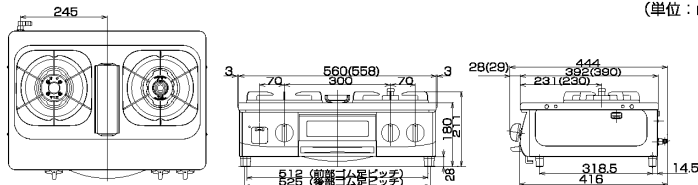


寸法図・仕様

寸法図

図は110-1170/110-1180型です。110-1171/110-1181型はチャオバーナーと標準バーナーが左右逆に
なります。

(単位: mm)



() 内は110-1180/110-1181の寸法です。

仕様

品名	ガステーブルコンロ			
品番	110-1170型	110-1171型	110-1180型	110-1181型
型式の呼び	RTS-390NF-L	RTS-390NF-R	RTS-390NA-L	RTS-390NA-R
点火方式	圧電点火式			
外形寸法	高さ180mm(トッププレートまで) ×幅566mm×奥行444mm			
質量(本体)	9.0kg			
安全装置	立消え安全装置・グリル消し忘れタイマー(約21分)・天ぷら油滴防止機能(標準バーナー)・コンロ消し忘れタイマー(標準バーナー・グリル)・グリル水切れ検知センサー			
電源	DC3.0V(単1形乾電池×2個)			
付属品	単1形乾電池(2個)・取扱説明書・保証書			

使用ガスの種類 使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量				ガス 接続
	個別ガス消費量			全点火時 ガス消費量	
都市ガス	チャオバーナー	標準バーナー	グリル		内径 9.5mm ガス用 ゴム管
	4.65kW (4000kcal/h)	2.67kW (2300kcal/h)	2.15kW (1850kcal/h)	9.24kW (7950kcal/h)	
LPガス	4.30kW (3700kcal/h)	2.50kW (2150kcal/h)	1.98kW (1700kcal/h)	8.60kW (7400kcal/h)	
	3.57kW (0.255kg/h)	2.46kW (0.176kg/h)	2.52kW (0.180kg/h)	8.40kW (0.600kg/h)	

廃棄時のお願い

本機器は乾電池を使用していますので、大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。
そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

△ 危険

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注
意して)大阪ガスにご連絡ください。



390NA-32A(00)
021000

ガステーブルコンロ

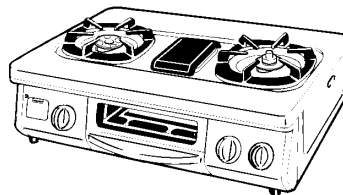
110-1170/110-1171型
110-1180/110-1181型

型式の呼び: RTS-390NF-L
RTS-390NF-R
RTS-390NA-L
RTS-390NA-R

取扱説明書

もくじ

各部のなまえ・別売部品のご紹介	1
安全上のご注意 (必ずお守りください)	2
機器の設置	8
使いかた	
点火・火力調節・消火のしかた	11
コンロ	12
グリル	13
使用中に消火したときは	14
お手入れのしかた	15
長期間使用しない場合	17
故障かな?と思ったら	17
交換部品・アフターサービス	18
寸法図・仕様	裏表紙

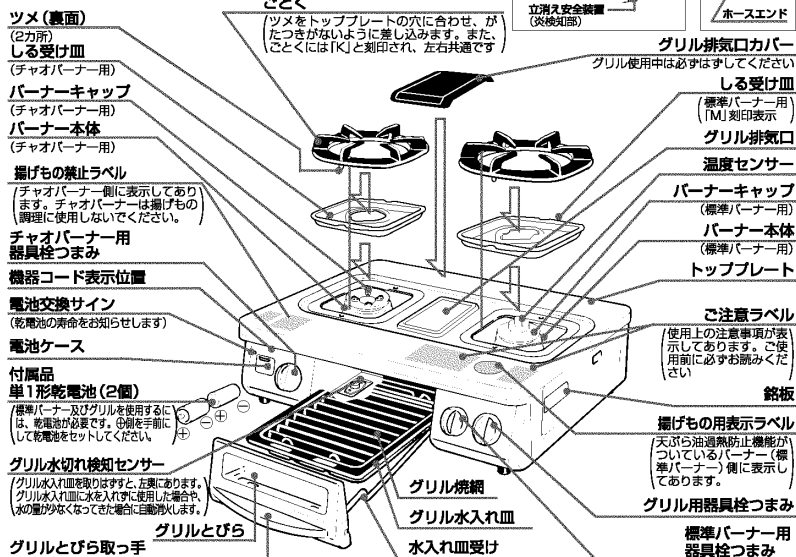


このたびは、大阪ガスのガステーブルコンロ
をお求めいただきまして、まことにありがた
うございました。

- ご使用の前にこの取扱説明書を最初から最後までよく
お読みいただき安全に正しくお使いください。
また付属の保証書も必ずお読みいただき、この取扱説
明書とともに大切に保管してください。
- 幼いお子様には、さわらないでください。
- この製品は家庭用です。業務用のような使いかたをさ
れますと著しく寿命が縮まります。
- この製品は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い求めの販売店、
大阪ガスサービスショップ、または大阪ガスでお求め
ください。

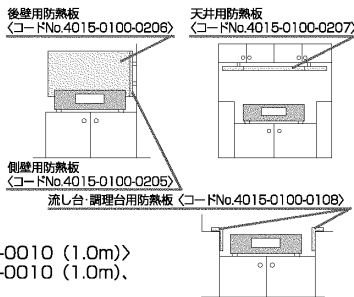
大阪ガス

図のように正しくセットしてください。
図は110-1170/1180型で説明してあります。110-1171/1181型はチャオバーナーと標準バーナーが左右逆になっています。110-1170/1171型のトッププレートはフッ素コート処理がされています。



別売部品のご紹介

- **防熱板** (取り付け方の詳細はP8を参照)
・設置場所、可燃性の壁(ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm、上部はトッププレート上面より100cm以上はなして設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。
- **ちり受け皿** (コードNo.4015-0100-0083)
・器具とガス台の間に設置してください。煮こぼれは、ちり受け皿の上に落ちます。ときどき取り出して掃除していただくと、ガス台を汚さずに使用できます。
- **ホースガス栓用プラグ** (コードNo.081-0450)
- **器具用スリムプラグ** (コードNo.081-0359)
- **ガステーブルコンロ用ガスコード**
 <13A用: コードNo.1-180-0006 (0.6m)、1-180-0010 (1.0m)>
 <LPG用: コードNo.9-180-0006 (0.6m)、9-180-0010 (1.0m)、9-180-0020 (2.0m)>
- ・お求めの場合は、お買い求めの販売店、または別添の「お問い合わせ先一覧」をご覧ください。



〈安全に正しくお使いいただくために〉

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

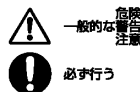
⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください。

⚠ 危険

■ **ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの入・切、電源プラグの抜き差し、周辺の電話を使用しない**

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



■ **ガス漏れに気づいたらすぐに使用を中止する**

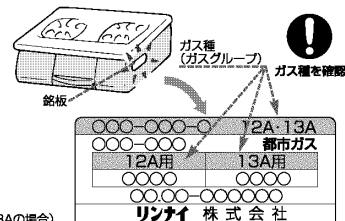
- ① すぐに使用を中止しガス栓を閉める。
(ガス栓つまみのないガスコンセント接続の場合は、ガスコンセントからソケットをはずす)
- ② 窓や戸を開けガスを外へ出す。
- ③ もよりのガス事業者(大阪ガス)に連絡する。



⚠ 警告

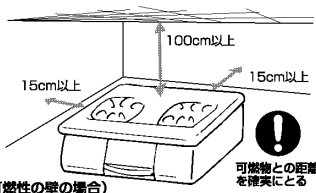
■ **供給ガスと銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)が合っていることを確認する**

供給ガスと一致していない場合、そのまま使用すると不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発発火でやけどをすることがあります。供給ガスがわからない場合はお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスに問い合わせてください。転居されたときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。



警告

- 設置するときは可燃物との距離を確実に離す
距離が近いと火災の原因になります。(火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。)
可燃物との距離が守れない場合は必ず防熱板を取り付けてください。(P8参照)
また表面がステンレス板やタイルの場合でも内部が可燃性の場合は必ず防熱板を取り付けてください。
- 設置後機器の周囲を改装する場合も可燃物との距離を確実に離す

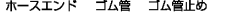


- 機器の下に新聞紙やビニールシートなど可燃物を敷かない、また周辺に可燃物を置いたり可燃性のガスを近くで使用しない、置かない
引火して火災・爆発を起こすことがあります。カーテンなど燃えやすいものを近づけたり、ふきん、スプレー缶、ベンジンなどを近くに置かないでください。

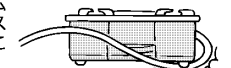
- 地震、火災、または使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する
あわてずに消火しガス栓を閉める。(ガス栓つまみのないガスコンセント接続の場合は、ガスコンセントからソケットをはずす)「故障かな?と思ったら」(P17・18)を参照してください。



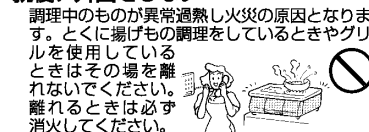
- ゴム管はホースエンドおよびガス栓の赤線まで確実に差し込みゴム管止めで止める
ゴム管が抜け、ガス中毒やガス爆発の原因になります。



- ゴム管は機器に触れたり、下を通したり、グリル排気口や炎に近づけない
また他の機器で加熱されるような所も通さない
使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れを起こすことがあります。



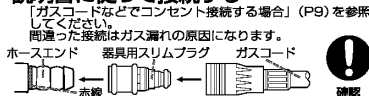
- 火をつけたまま、その場を離れたり、就寝、外出をしない
調理中のものが異常過熱し火災の原因となります。とくに揚げもの調理をしているときやグリルを使用しているときはその場を離れないでください。離れるときは必ず消火してください。



- 内径9.5mmφのガス用ゴム管(ソフトコード)以外は使わない ひび割れたゴム管、古いゴム管は使わない
ガス漏れの原因となります。ゴム管はJISまたは検査合格マークの入ったものを使用してください。ビニール管は絶対に使わないでください。ときどき点検して古くなった場合は取り替えてください。



- ガスコードを使用する場合は、器具用スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って接続する
「ガスコードなどでコンセント接続する場合」(P9)を参照してください。



- ガスコードの長さが合わない為に高温部に触れたり、機器の下を通したり、機器に触れたりする場合はガスコードを使用しない
ガスコードが加熱され、ガス漏れの原因になります。

- ゴム管の継ぎだし、二又分岐はしない
ガス漏れや使用騒音などで危険な場合があります。

警告

- グリル排気口をふさがない
グリル排気口の上をなべ・アルミはく・ふきんなどでふさぐと異常過熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。またグリル使用時、必ずグリル排気口カバーを取り外してください。



- 使用後は消火を確認しガス栓を閉める
消し忘れによる火災の原因になります。特にグリルは消し忘れしやすいので機器から離れるときは必ず消火を確かめてください。



- グリル水入れ皿に必ず水(約200ml)を入れ、連続使用の場合などは、たまった脂は取り除き、そのつど水を入れる
水がない場合、魚やたまった脂が過熱されて発火し、グリル排気口より炎が出ることがあります。続けて使用する場合も、そのつど脂を取り除き水を入れてください。なお水以外のものは入れないでください。



- お手入れが必要など以外には絶対に分解したり修理・改造は行わない
ガス漏れや故障の原因になります。



- 指定以外の補助具や大きすぎるなべなどは使わない

コンロをおおうような鉄板や直径34cm以上のなべ、焼き網、たこ焼き器、アルミはく製の受け皿、ごときのかわりに用いる、いわゆる省エネごとくなどを使うと異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因となったり、機器の焼損やトッププレートの破損、過熱によるごときの変形の原因となります。また、温度センサーが正しく作動せず発火や消火の原因にもなります。指定以外の補助具を使用した場合の機器の故障、事故(お手入れ時のケガなど)については、当社では責任を負いかねます。



注意

- グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない
アルミはくの上に脂がたまり発火する原因になります。



- 魚の裏返しや取り出し時などは、グリルとびらガラスやグリルとびら上端に触れない
手や腕が触れるとやけどをすることがあります。



- グリル水入れ皿の出し入れはゆっくり確実に

水平にゆっくり出し入れしてください。グリルとびらを持ち上げたまま引き出すと途中で止まらずに落下し、お湯がこぼれてやけどをすることがあります。



- グリル水入れ皿の中に水のかわりに市販のグリル石・アルミはくなどを入れない



△注意

- グリル排気口をのぞきこまない またなべの取っ手をグリル排気口に向けない

グリル使用時はグリル排気口から高温の排気 gases が出ます。やけどをしたり、取っ手をこがす原因になります。



- グリル使用前にグリル庫内に食品くずやふきんなどがいないことを確認する

食品くずやふきんが燃えることがあります。



- グリル水入れ皿だけを持って本体より取りはずさない

グリルとびらが落下し、やけどやけがをすることがあります。必ずグリルとびら取っ手を持って取りはずしてください。



- グリルとびらに重いものをのせたり、強い力を加えない

グリルとびらははずれ、けがの原因になります。



- 棚の下など落下物の危険のある所に機器を設置しない

機器の上に落ちた物が燃え火災の原因になります。



- 衣類の乾燥や練炭の火起こしなど調理以外の用途に使用しない

火災や異常過熱し機器焼損の原因になります。



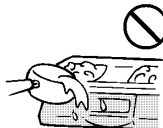
- こたくをはずしてなべなどを直接コンロに置いて使用しない

不完全燃焼や機器焼損の原因になります。



- 使用中、使用直後にグリルとびらガラスに水をかけない 衝撃を加えない

ガラスが割れてけが、やけどの原因になります。また、とびらが変形したり、閉まらなくなります。



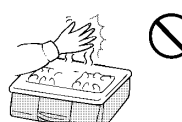
- グリル水入れ皿の持ち運びはていねいに

使用中・使用直後はグリル水入れ皿の水は高温になっています。こぼすとやけどをする原因になります。



- コンロ・グリル使用中はバーナー付近や排気口に体の一部や衣服を近づけない

炎が衣服に燃え移ったり、排気熱によりやけどの原因になります。



- 使用中、使用直後は器具栓つまみ、グリルとびら取っ手以外は触れない

やけどをすることがあります。とくに小さいお子様が家庭ではご注意ください。



- 不安定な場所に設置しない

機器が傾いてなべなどがすべり落ち、やけどやけがをする原因になります。



- 強い風の吹込む場所に機器を設置しない

機器内部の焼損や安全装置が正しく作動しないなどの原因になります。また点火不良の原因にもなります。



- 車両・船舶では使用しない

使用中に機器が傾いたりして、火災ややけどをする原因になります。



△注意

- 点火するときはバーナー付近に顔などを近づけない また、この機器の点火装置以外の方法では点火しない

炎や熱でやけどをする原因になります。



- バーナーキャップを水洗いしたときは水気をしっかりふき切ってからセットする

炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。



- 使用中は換気をする

一酸化炭素中毒の原因になります。ただし、自然排気式給湯器およびふろ釜を使用している場合は、換気扇を回さないで窓をあけて、換気をしてください。換気扇を回すと排気ガスが逆流することがあります。



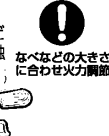
- 小さいお子様に触れさせない、使わせない

やけどやけがをする恐れがあります。



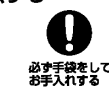
- やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する

火力が強いとやかん、なべなどの取っ手が焼損したり、手に触れるとやけどをする原因になります。



- 機器本体内部をお手入れする場合、各部品などに注意する

強く当たった場合、手などにけがをする場合があります。



- しる受け皿はバーナーキャップにのせたり、斜めにしてセットしない

バーナーの炎がしる受け皿の下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。

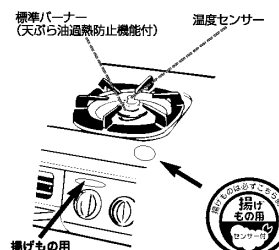


天ぷら油過熱防止機能付バーナーについて(標準バーナーのみ)

天ぷら油過熱防止機能とは天ぷら、フライなどの揚げ物の調理で、消し忘れなどによる調理油の過熱を防止する機能です。温度センサーでなべ底の温度を監視し、調理油が発火する温度になる前に自動的にガスを止めます。このとき、ブザーが鳴ってお知らせします。揚げ物の調理をされるときは、必ずこの機能のついている標準バーナーを使用してください。

使用方法をお守りいただければ、天ぷら油の過熱による発火を防止できないことがあります。

- ※天ぷら油過熱防止機能がついているバーナーは右図のようにトッププレートに(●)および前面パネルに揚げもの用と表示してあります。



△注意

- 揚げ物の調理をされるときは、必ず標準バーナー(天ぷら油過熱防止機能付)を使用する

チャオバーナーを使用すると消し忘れなどにより調理油が発火することがあります。



警告

■標準バーナー(天ぷら油過熱防止機能付)で調理をするときは、耐熱ガラス容器・土なべなど熱が伝わりにくいものは使用しない

天ぷら油過熱防止機能が働かず、調理油が発火することがあります。



耐熱ガラス容器

土なべ

油料理禁止

■温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない

そのまま使用すると調理油の量に関係なく発火することがあります。



■標準バーナー(天ぷら油過熱防止機能付)で使用する調理油の量は200ml以上で行う

調理油の量ははじめから少なかったり、減ってきたりすると発火することがあります。



調理油の量 200ml以上

注意

■温度センサーのお手入れはこまめに行う また上下にスムーズに動くことを確認する

なべ底に密着しなくなり調理油が発火することがあります。また、動きが悪いとなべなどが傾き、お湯などがこぼれやけどをする原因にもなります。なべの重さは調理物を含め300g以上必要です。密着しない場合、点検・修理を依頼してください。



■温度センサーに強いショックを加えたりキズをつけない

なべ底にセンサーが密着しなくなり、調理油が発火することがあります。



■標準バーナー(天ぷら油過熱防止機能付)では、中華なべ補助ごとく(別売)を使用しない

なべ底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火することがあります。

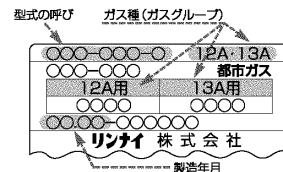


お願い

- コンロバーナーの上で魚焼き・鉄板焼きなどをすると、トッププレートやしる受け皿の色が変わることがあります。また、トッププレートがフッ素コート処理されている場合は、フッ素コートがはがれたりしますのでしないでください。
- なべの種類によっては、傾いたり、すべりやすいものがあります。不安定な状態で使わないでください。中華なべなど底の丸いなべは、必ず取っ手を持ちながら調理してください。
- 煮こぼれをさせると機器を早くいためますので、煮こぼれをさせた場合は機器がさめてからでける限り早くふきとってください。
- みそ汁を温めなおすときは火力を弱めにし、よくかき混ぜながら温めてください。強火で急に温めなおすとなべ底に沈んだみそが突然噴き上がり、みそ汁が飛びちったり、なべがはねあがってびっくりかえることがあります。特に、だし入り豆みそ(赤みそなど)に注意してください。
- 炎の熱や、煮こぼれ等によりバーナー本体(ステンレス製)が変色することがありますが、使用上問題ありません。

設置前の準備と確認

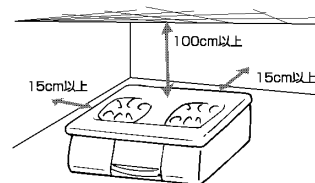
- 型式の呼び・ガス種・製造年月は、機器右側面の銘板に表示してあります。
- 機器銘板のガス種(ガスグループ)と供給ガスが合っているか確認します。
- 輸送のため各部分にあて紙や包装部材がありますので全部取り除いてください。



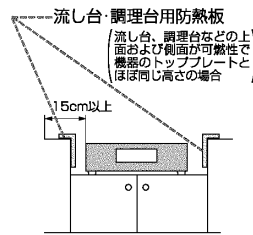
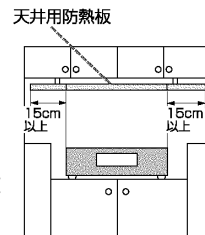
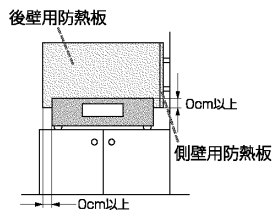
設置場所および周囲の防火措置

設置場所

- 強い風の吹込まない場所・丈夫で水平な場所
- 付近にカーテンなど燃えやすいものがない場所
- 機器の上に湯沸し器のない場所
- 機器を使用した場合ガス栓が加熱されない場所
- 落下物の危険のない場所
- 機器の上に樹脂製の照明器具のない場所
- 周囲に可燃物(木製の壁・モルタル、タイル、ステンレスなどを張付けた壁・たななど)のある場合
 - ・トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離す。
 - ・上記の距離がたもてない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けて設置する。



防熱板について

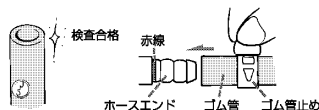


お願い

- ・防熱板(別売)の部品コードは「別売部品のご紹介」(P1)を参照してください。
- ・防熱板についてはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。
- ・別売の指定の防熱板を必ずご使用ください。

ゴム管(ソフトコード)の接続

- ガス用ゴム管〈ソフトコード〉(内径9.5mmφ、JISマーク入り)を用い、折れたり、ねじれたりしないようにしてガス栓と機器のホースエンドとを接続します。(2m以下で適当にゆとりをもたせる)このときゴム管は赤線までしっかりと差し込み、ゴム管止めで固定してください。また機器に触れないようにして接続します。
- ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を開める。



ガスコードなどでコンセント接続する場合

ガス機器側の接続 機器のホースエンドをコンセント化してガスコードでコンセント接続する場合



左図のように、まず別売の器具用スリムプラグを梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明書に従って機器のホースエンドに取り付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに「カチッ」と音がするまで押し込みます。

ガス栓側の接続 (ガス栓がガステーブル用であることを確認してください。)

- ①ガス栓を開けるとき
コンセント継手を
「カチッ」と音がする
まで確実に差し込む



- ②ガス栓を閉めるとき
コンセント継手のす
べりリング(白色)
を手前に引く



- コンセント継手を差し込むとガス栓が開きます。
- コンセント継手をはずれるとガス栓が閉まります。

お願い

- ・ガスコードを接続する場合は、ガス栓側がカチットプラグになっていないと接続できません。従来のガス栓でご使用する場合は、別売のホースガス栓用プラグが必要です。機器を接続するガス栓は、必ずガステーブルコンロ用をご使用ください。

ガスコンセントについて

「ガスコンセント」は、ガスコードなどを取り付けると自動的に開栓し、取りはずすと自動的に閉栓します。

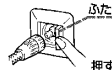
- ◆ふたを開ける
(ふたの右端を
押します。)



- ◆取り付け
(「カチッ」と音
がするまで差
し込みます。)



- ◆取りはずす
(右端にあるふた
を押します。)



部品の取り付け

バーナーキャップ

「マエ」刻印を手前にしてバーナーキャップの突起部をバーナー本体の凹部に正しくはめ込み、必ず正常に燃焼していることを確認してください。

※バーナーキャップが浮いたり傾いたりしていると点火不良や炎が不ぞろいになったり異常燃焼などが起こる場合もあります。

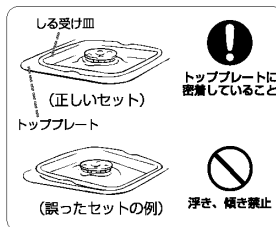
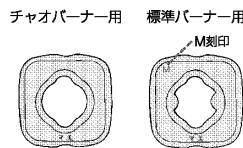


お願い

バーナーキャップは消耗品です。薄くなったり変形して炎が不ぞろいになった場合は交換が必要です。お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご相談ください。

しる受け皿

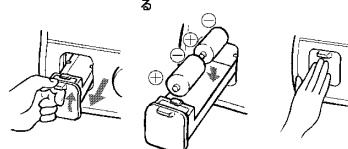
- ・チャオバーナー用と標準バーナー用(M刻印表示)の2種類ありますのでまちがえないように取り付けてください。
- ・「マエ」の刻印を必ず手前にしてセットしてください。



単1形乾電池2個(付属品)

乾電池のセットのしかた

- ①電池ケースのツメをつまんで手前に引く ②乾電池の+側を手前にして乾電池を入れる ③電池ケースを奥までしっかり押し込む



※乾電池を正しくセットしないと、チャオバーナーは着火してもグリルやセンサー付バーナーは着火しませんのでご注意ください。

お願い

- ・電池ケースは途中で止まり、取りはずせない構造になっています。無理に引っ張らないでください。
- ・電池ケースに水などの異物が入った場合、電池の接触不良の原因になりますので、ふきとってきれいにしてください。
- ・乾電池は必ず2個とも同種類の新品の単1形乾電池をご使用ください。
- ・乾電池の交換の目安は乾電池の種類によっても異なりますが約1年を目安としてください。
- ・付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。

点火・火力調節・消火のしかた

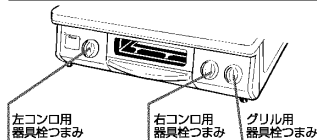
※使用するバーナーの器具栓つまみを間違えないでください。

dddと表示してあるのがチャオバーナー用の器具栓つまみです。

ddと表示してあるのが標準バーナー用の器具栓つまみです。

△と表示してあるのがグリル用の器具栓つまみです。

必ず表示を確認してから点火してください。



1 準備

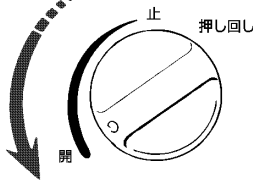
ガス栓を開きます。

(グリルを使う場合のみ)



グリル水入れ皿に必ず水(約200ml)を入れ、必ずグリル排気口カバーを取りはずして使用してください。

2 点火



●器具栓つまみを押しながらかくくり左へ「カチン」と音がするまで回し、バーナーに点火したことを確かめてから立消え安全装置が働くまでそのまま2～3秒押し続ける。

お願い

- ・チャオバーナーおよびグリルは標準バーナーに比べ点火に多少時間がかかります。
- ・万一、点火しないときは器具栓つまみを一旦消火の状態に戻し、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をしてください。

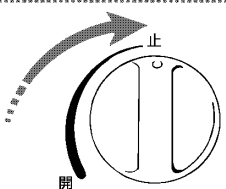
3 火力調節

弱火になります。



強火になります。

4 消火



●器具栓つまみを回し火力調節する。

お願い

チャオバーナーを弱火にした時、バーナーキャップの中央に近い丸穴から出ている火が消えることがありますが、異常ではありません。

●器具栓つまみを「止」の位置まで確実に回し、消火したことを確認する。

お願い

幼いお子様のいたすらによる火災防止やガス漏れ防止のため、機器から離れたときは念のため部屋のガス栓を閉めてください。

コンロ

天ぷら油過熱防止機能(標準バーナーのみ)

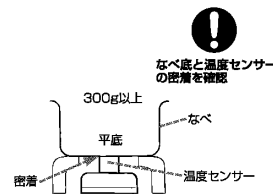
調理油の量

200ml以上で使用してください。少ないと発火することがあります。

なべの重さとのせかた

なべの重さは調理物の重さを含め300g以上必要です。できるだけ底が平らな金属製のなべを使い、なべ底の中心が温度センサー頭部に密着するよう、正しくセットしてください。また安定性の悪いなべは使用しないでください。

温度センサーに適したなべ



○：適する ×：適さない

なべなどの種類	油料理 (揚げものなど)	その他料理 (煮物など)	備 考
(鉄、アルミ製) なべ 天ぷらなべ フライパン 底の平らな中華なべ	○	○	調理油の量が200ml以下の場合発火することがあります。
(ステンレス、ホーロー製) なべ	○	○	
(ステンレス製) フライパン	×	○	調理油の量が200ml以上でも発火する場合があります。
底の丸い中華なべ 底の凹凸した打ち出しなべ	×	○	
耐熱ガラス容器 土なべ	×	○	油料理には適していません。発火する場合がありますので使用しないでください。
(アルミ、ステンレス製) 無水なべ 多量なべ	○	○	調理油の量が200ml以下の場合発火することがあります。また、無水料理において途中消火する場合がありますのでチャオバーナーをご使用ください。
圧力なべ		○	途中消火する場合はチャオバーナーをご使用ください。
焼網		×	消火したり、トッププレートがフッ素コート処理されている場合、フッ素コートがはがれたりしますのでグリルを使用してください。

このような調理には、チャオバーナーをお使いください

●標準バーナー(天ぷら油過熱防止機能付)は、温度センサーがなべのから焼きのような高い温度(260℃をこえる)になったときや冷たくなりすぎる場合、自動的に消火しますので、次のような調理にはチャオバーナーをお使いください。

- ・高温になりやすい調理
 - 焼きもの：お好み焼き・ホイルのつつみ焼き・ポークソテーなど
 - 炒めもの：ソーセージ炒めなど
 - 炒りもの：ごま炒り・大豆炒り
- ・冷たくなりすぎる調理
 - 冷凍食品：容器ごと凍らせたらうどんやそばなどの解凍加熱

コンロ消し忘れタイマー(標準バーナーのみ)

消し忘れを防止するために、点火してからの連続使用時間を判断して、約2時間たつと自動消火し、同時にブザーで「ピー」とお知らせする機能です。

●コンロ消し忘れタイマーが作動したらすぐに器具栓つまみを回し消火の状態にする。点火するときは再度点火操作を行ってください。



グリル

はじめて使用するときはから焼きが必要
工場出荷時の加工油を焼ききるためグリル水入れ皿に必ず
水(約200ml)を入れて約15分、から焼きをしてください。
この時、煙がでますが異常ではありません。



グリル水切れ検知センサー

グリル水入れ皿に水を入れずに使用した場合や、水の量が少なくなってきた場合に自動消火します。
●グリル水切れ検知センサーが作動したら、すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にしてください。
再点火するときは、グリル水入れ皿に水を入れ、しばらく待ってから点火操作をしてください。
※消火するとブザーが「ピー」と5回鳴ってお知らせします。

グリル消し忘れタイマー

消し忘れを防止するために、点火してから連続使用時間を判断して、約21分
たつと自動消火し、同時にブザーで「ピー」とお知らせする機能です。

●グリル消し忘れタイマーが作動したら
すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にしてください。
グリルを続けて使用するときは、そのつど脂を取り除き水を入れて再度点火操作をしてください。



【お願い】調理物(魚など)の種類によっては、グリル消し忘れタイマーが作動する前に発火することがありますので、機器から離れないようにし、焼きすぎに注意してください。

グリルお知らせブザー

グリル点火後、約3分ごとにブザーが「ピピッ」と一回鳴り、グリルを使用中であることをお知らせします。
(調理時間の目安としてもお使いいただけます。)

グリルで上手に焼くには

グリル焼網の高低

裏表で焼網の高さが変わられます。焼き物の
大きさ、種類により高低を選んでください。



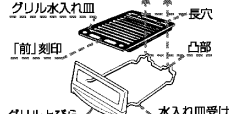
予熱が必要

あらかじめ3～4分予熱しておくときれいに焼きあがります。
つけ焼き・照り焼きなどのこげつきやすいもの、火の通りの悪い身の厚い魚などは、予熱せずに焼いてください。

グリル水入れ皿のセットのしかたと出し入れ

グリル水入れ皿のセット

水入れ皿受けの
凸部をグリル水入れ皿の
長穴に差し入
れてセットし
ます。



取り出すとき

グリル水入れ皿を取り
出すときは、グリルと
びらを止まるところま
でいっばいに引き出
してから、そのまま持
上げて取り出します。



魚の尾やヒレは？

こげやすい魚の尾やヒレ
はアルミはくで包んだり、
厚めに塩をふりかけたり
します。



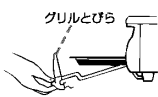
グリル焼網に油

グリル焼網にサラダ油などを
塗っておくと、焼き上がり後
材料がグリル焼網に付着しに
く取り出しやすくなります。



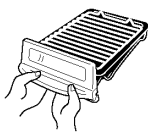
引き出すとき

グリルとびらを止まると
ころまでいっばいに引き
出すと、グリルとびらだ
けが下がり、焼き物の出
し入れ・反転・確認が簡
単に行えます。



持ち運ぶとき

グリルとびら取っ手
を両手でしっかりと
持ち、水平にゆっく
り持ち運んでくださ
い。



使用中に消火したときは

天ぷら油過熱防止機能が作動(標準バーナーのみ)

消し忘れなどによって起こる調理油の異常過熱時に
自動消火します。

- すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にする。
※消火と同時にブザーが「ピー」と5回鳴ってお知らせします。
- 再度点火するときは
※なべや油が相当熱くなっていますのでやけどに
十分注意して、水を入れたなべや水に浸した布
などで温度センサーを冷やしてから点火する。

乾電池が消耗(標準バーナー・グリルのみ)

乾電池の容量が少なくなった場合、自動消火します。

- すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にする。
※乾電池を交換してください。(P10参照)

グリル水切れ検知センサーが作動

グリル水入れ皿に水を入れずに使用した場合や、水
の量が少なくなってきた場合に自動消火します。ま
た、使用中にグリル水入れ皿を長時間引き出したま
まですと自動消火する場合があります。

- すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にする。
※消火するとブザーが「ピー」と5回鳴ってお知らせ
します。
- 再度点火するときは
※グリル水入れ皿に水を入れ、しばらく待ってか
ら再度点火する。

消し忘れタイマーが作動(標準バーナー・グリル)

消し忘れを防止するために、点火してから連続使
用時間を判断して、一定時間以上になると自動消火
します。

- (標準バーナー約2時間・グリル約21分)
- すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にする。
※消火と同時にブザーが「ピー」と5回鳴ってお知
らせします。

立消え安全装置が作動

煮こぼれなどで火が消えると、ガスを自動的に止めます。(ガスが止まるまで少し時間がかかります。)

- すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にする。
- 再度点火するときは
※周囲にガスがなくなったことを確認して、立消え安全装置(炎検知部)の汚れをふきとってから点火する。

【お願い】

- ・立消え安全装置(炎検知部)に水滴や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったりします。水滴や煮こぼれはふきとってください。
- ・立消え安全装置(炎検知部)に硬いものをぶつけないでください。まがったり、変形し点火しにくくなったりします。



電池交換サイン(標準バーナーとグリルの器具栓つまみを回したときだけ作動します)

※標準バーナーとグリルを使用しているときのみ点滅または点灯します。
■この機器は標準バーナーやグリルの機能を制御するために乾電池を使用
しています。

- 乾電池の交換時期をお知らせする電池交換ランプがついています。
- ランプが点滅……新しい乾電池を用意してください。
- ランプが点灯……標準バーナーとグリルは使用できなくなります。
器具栓つまみを回したとき点火しても、安全のため、
手を離すと消火ようになりますので、電池交換ラ
ンプが点灯したら新しい乾電池と交換してください。
※チャオバーナーは使用できません。

【お願い】

- ・乾電池は単1形乾電池をご使用ください。
- ・乾電池が正しくセットされていなかったり、乾電池の容量が
全くなかったときは、点灯しません。

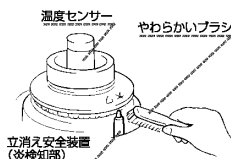


日常の点検

- 機器周辺に燃えやすいものが置いてありませんか。
- パーナーキャップ、しる受け皿などは正しくセットされていますか。
- グリル水入れ皿に脂がたまっていますか。
- ゴム管の接続は確かですか。
- ゴム管は傷んでいますか。
- 立消え安全装置(炎検知部)・温度センサーが汚れていませんか。
- パーナーの炎口が煮汁などでつまっていますか。

立消え安全装置(炎検知部)・温度センサー

- 煮汁やゴミをやわらかい歯ブラシなどで落とす。
- 温度センサーをお手入れするときは、温度センサーに片手を添えて、かたくしぼった布でふきとってください。
- 温度センサーは側面の汚れもふきとってください。

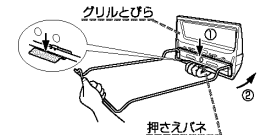
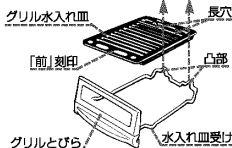


お願い

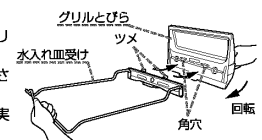
- 点検・お手入れの前には、必ずガス栓を開けて機器が冷えてから行ってください。
- けがをしないように手袋などをはめて行ってください。また、各部品の突起物には注意し、強く当たらないよう気を付けてください。けがをすることがあります。
- 機器本体に水をかけたり、丸洗いはしないでください。

グリル水入れ皿・グリルとびら・グリル排気口カバー・グリル焼網

- 使用後そのつど台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)を含ませたスポンジたわしでお手入れをする。(取りはずしてお手入れができます。)
- グリル水入れ皿の取り付け
水入れ皿受けの凸部をグリル水入れ皿の長穴に確実にいれる。
- グリルとびらの取りはずしかた
1. 押さえバネを①の方向に下げる。
2. グリルとびらを②の方向にたおす。



- グリルとびらの取り付けかた
1. 水入れ皿受けのツメ2カ所をグリルとびらの角穴にはめ込む。
2. ③の方向にグリルとびらを回転させる。
押さえバネが水入れ皿受けに確実にまわっているか確認する。



- お願い
● 押さえバネには必要以上に力を加えないで下さい。変形してグリルとびらが正しく取り付けられなくなることがあります。

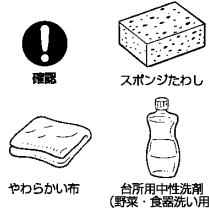
グリルとびらガラス

※汚れたらそのつどやわらかい布でふき、お手入れをする。
汚れが落ちにくいときは、台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)で汚れた部分を濡らしておき、水を含んだ布でふきとる。

- ミガキ粉・硬いものでお手入れをすると、ガラスに傷がつき割れる原因になりますので使用しないでください。

お願い

使ってよいもの



使ってはいけないもの

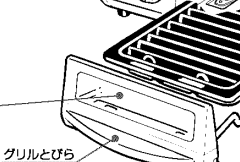


グリル水切れ検知センサー

- 水切れセンサーの頭部についた脂やゴミは布に水を湿しかたくしぼってふきとってください。
- お手入れの際には、けがをしないように気を付けて行ってください。(グリル庫内左奥)



- お願い
● 水切れ検知センサー(グリル水入れ皿)を取りはずすと、左の奥にあります。



機器表面

- 台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)を含ませたスポンジたわし・やわらかい布でふき、お手入れ後は乾いた布で水気をふきとる。

お願い

- スプレー式洗剤は使用しないでください。機器前面などから内部へ洗剤が入りますと電子基板の誤作動や部品の腐食などにより機器が損傷する場合があります。
- 印刷・塗装表面にはミガキ粉・金属たわしなど硬いものは使わないでください。表面にキズがつきます。

ごとく・しる受け皿

- 使用後そのつど台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)を含ませたスポンジたわしでお手入れをする。

こげつき等により、特に汚れが落ちにくい場合

- スポンジやナイロンたわしにミガキ粉やクレンザー(研磨材入り洗剤)をつけてお手入れした後、洗剤をしっかりと洗い流し、水気をふきとる。
- ナイロンたわし・ミガキ粉・クレンザーは基本的に使ってはいけません。もし、使う場合は下記の内容をお守りください。

お願い

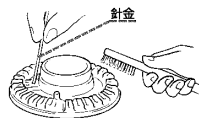
- クレンザーやミガキ粉には研磨材が配合されていますので、ごとく表面に多少のこすり傷がつくことがあります。また洗剤の液性はアルカリ性ですので、洗剤を十分に洗い流し、水気をふきとってください。洗剤が残っていると錆の発生の原因になります。
- 硬いものでお手入れをすると、ごとく表面のホーローがかけたりしますので使用しないでください。

パーナーキャップ

- 目詰りしていたら、炎口をブラシや針金などで掃除をする。
- お手入れ後は正しくセットし、正常に燃焼することを確認してください。

お願い

- パーナーキャップの表面(黒い部分)を台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)以外の洗剤でお手入れをすると黒い部分がはがれることがあります。万が一はがれた場合でもそのままご使用いただいても問題ありません。
- 煮こぼれたときは、必ずお手入れしてください。



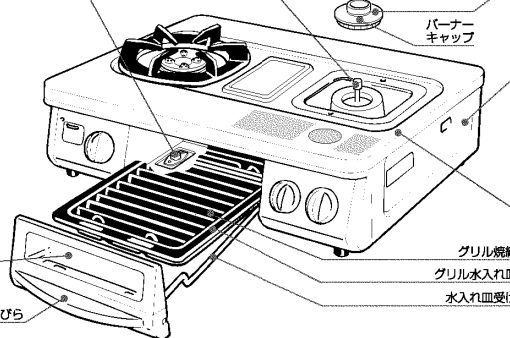
トッププレート

※汚れたらそのつどやわらかい布でふきお手入れをする。汚れたまま放置するとシミがのこる原因となります。

- 汚れが落ちにくいときは、台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)で汚れた部分を濡らしておき、水を含んだ布でふきとる。

お願い

- トッププレートがフッ素コート処理されている場合、台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)以外の洗剤やミガキ粉・硬いものでお手入れをすると、フッ素コートがはがれたり、シミ・変色の原因となりますので使用しないでください。
- トッププレートには安全に関する注意ラベルが張り付けられています。汚れたら読めなくなったときはやわらかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたら読めなくなった場合は、お買い上げの販売店またはももりの大板ガスで新しいラベルを再購入のうえ、張り替えてください。



- お部屋のガス栓を必ず閉めてください。
- 乾電池を外しておく。
- お手入れをしておく、次回使用するとき便利です。

故障かな？と思ったら

警告 ■使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する
あわてずガス栓を閉めてください。

調べてみると故障でない場合がよくあります。修理を依頼する前に、もう一度チェックしてください。

現象	原因	処置	参照ページ
・点火しない ・点火しにくい ・点火してもすぐ消える	ガス栓の開き忘れ	お部屋のガス栓を全閉にしてください。	P.11
	ガス栓のヒューズが作動	機器を接続しているガス栓がテーブルコンロ用であることを確認する。	P.9
	バーナーキャップの取付け不良	浮き、傾きのないよう正しくセットしてください。	P.10
	しる受け皿の取付け不良	正しくセットしてください。	P.10
	アルミはく剥きの受け皿を使用している	アルミはく剥きの受け皿を使用しないでください。	P.4
	バーナーキャップの炎口部が水滴でふさがっている	炎口部の水滴をふきとってください。	P.6
	ゴム管の中に空気が残っている	点火操作を繰り返してください。 ※はじめての場合は点火するまでしばらく時間がかかります。	P.18
	バーナーキャップの炎口づまり	炎口を掃除してください。	P.16
	点火プラグ・立消え安全装置(炎検知部)がぬれたり、汚れたりしている	点火プラグ・立消え安全装置(炎検知部)のお手入れをしてください。	P.15
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がり、つぶれを直してください。	P.9
・炎が安定しない ・異常音をたてて燃える ・爆発的に点火する ・なべにススが付着する ・使用中、炎が消える	乾電池が入っていない、または正しくセットされていない	①、②を確認して正しくセットしてください。	P.10
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換してください。	P.10
	バーナーキャップの取付け不良	浮き、傾きのないよう正しくセットしてください。	P.10
	バーナーキャップの炎口づまり	炎口を掃除してください。	P.16
	立消え安全装置(炎検知部)がぬれたり、汚れたりしている	立消え安全装置(炎検知部)のお手入れをしてください。	P.15
	ゴム管がひび割れたり、穴があいている	ガス栓を閉め、新しいゴム管と交換してください。	P.3
	ゴム管が確実に接続されていない	ゴム管を確実に接続してください。	P.9
	使用なべの形状、材質が適していない	「温度センサーに適したなべ」を参照してください。	P.12
	なべ底や温度センサー頭部の汚れ	なべ底や温度センサーを掃除してください。	P.15
	なべ底が平らな金属製のなべになっている	底が平らな金属製のなべにしてください。	P.7・12
標準バーナー(温度センサー付)使用中 ・調理中に自動消火する ・油温が高くなっても自動消火しない ・点火してもすぐ消える	天ぷら油過熱防止機能が作動	水を入れたなべや水に浸した布などで温度センサーを冷やしてください。	P.14
	なべが焦げついたり、油の温度が高くなっている	水を入れたなべや水に浸した布などで温度センサーを冷やしてください。	P.14
	乾電池が入っていない、または正しくセットされていない	①、②を確認して正しくセットしてください。	P.10
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換してください。	P.10
	消し忘れタイマーの作動(標準バーナー約2時間・グリル約2分)	続けて使用する場合は、再点火してください。	P.14
	グリル使用中、グリル水入れ皿に水が入っている	グリル水入れ皿に水を入れ、しばらく待ってから点火してください。	P.14
	天ぷら油過熱防止機能作動(標準バーナー)	続けて使用する場合は、やけどに注意して再点火してください。	P.14
	消し忘れタイマーの作動(標準バーナー約2時間・グリル約2分)	続けて使用する場合は、再点火してください。	P.14
	標準バーナー・グリル使用中、立消え安全装置が作動	「立消え安全装置が作動」を参照してください。	P.14
	グリル水切れセンサーが作動	グリル水入れ皿に水を入れ、しばらく待ってから点火してください。	P.14
ブザー音	電池交換のお知らせ・電池交換サイン灯	新しい乾電池と交換してください。	P.10・14
	温度センサーまたは電子ユニットの故障	ガス栓を閉め、使用を中止し、点検・修理を依頼してください。	—

●なお、異常のあるときやおわかりにならないときには、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。不完全な処置は事故のもとになります。

こんなときは異常ではありません。

点火しにくい	朝一番で使用するときはやばじめて使用するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。点火操作を繰り返してください。
点火・消火の時、音がする	点火時・消火時に「ボン」という音があることがありますが、これは点火音・消火音で異常ではありません。(消火時にはしばらくしてから音がする場合もあります。)
炎が赤い	グリル使用時にコンロを使用すると焼き物の塩分(ナトリウム)や水中に溶解しているカルシウムなどが燃焼して炎が赤くなることがありますが異常ではありません。また加湿器を使用している場合にも同様に水分中のカルシウムにより炎が赤くなることがあります。
使用中「シャー」という音がする	燃焼に必要な空気が通過する音で、異常ではありません。
点火後や消火後にキシミ音がでる	加熱や冷却される際に、金属が膨張・収縮して起こる音です。
バーナー本体(ステンレス製)が変色する	炎の熱や煮こぼれにより、バーナー本体が変色することがありますが、使用上問題ありません。
ごとくの先端部が変色する	ごとくの先端部は炎が接触して変色しますが、異常ではありません。

- はじめてグリルを使用しますとグリル内の加工油が焼けて煙がでますが異常ではありません。グリル水入れ皿に必ず水(約200ml)を入れて約15分、から焼をしてください。

交換部品(お客様にて取り替え可能な消耗部品)

- 下記の部品(有償)は、お客様ご自身にてお取り替えしていただくことができます。交換の際は製品の型式をご確認のうえ、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにてお求めください。

交換部品	品番	110-1170/110-1171/110-1180/110-1181型	
		希望小売価格	部品コード
バーナーキャップ	チャオバーナー用	¥ 800	111010700110
	標準バーナー用	¥ 1,000	111010700113
しる受け皿	チャオバーナー用	¥ 500	111010700002
	標準バーナー用	¥ 500	111010700003
ごとく		¥ 900	111010700004
グリル水入れ皿		¥ 700	111010700011
グリル焼網		¥ 500	111010700012

※乾電池はもよりの電気店等でお買い求めください。
(2002年12月現在の価格です。価格・仕様は変更される場合があります。あらかじめご了承ください)

アフターサービス

アフターサービスのお申し込み

- ・サービス(点検・修理)を依頼される前に「故障かな?と思ったら」(P.17)を見て、もう一度ご確認ください。それでもなお異常のある場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガスへご連絡ください。
- ・ご連絡の際には次のことをお知らせください。
 1. 品名・ガスステーション番号
 2. 品番・JGAコード…本体の左側面に貼付してあります。
 3. 故障、異常の現象…できるだけ詳しく
 4. お客様名、住所、電話番号

(N)110-1170(U)

大阪ガス株式会社

21-080-01-00169

←品番

←JGAコード

保証・補修について

- ・保証期間中は…保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。保証書を紛失されまると、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ・保証期間経過後の故障修理について
 1. お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
- ・修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年間です。但し、最低保有期間の経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。本製品は家庭用です。業務用にお使いの場合、無料期間中であっても有料修理となる場合があります。

転居されるとき

- ・ガスには都市ガス、およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類によって調整できない場合もあります。